

障害福祉サービス事業所(共同生活援助) グループホームまつば

令和 7 年度 地域連携推進会議 議事録

開催日時: 令和 7年 11月 19日 火曜日 13:55~15:05

場所: 障害福祉サービス事業所(共同生活援助) グループホームまつば

出席者: グループホームまつば利用者代表 1 名

グループホームまつば利用者家族代表 1 名

地域住民代表 1 名(松ヶ谷四丁目本町会 女性部部长)

台東区役所福祉部障害福祉課職員 1 名

グループホームまつばサービス管理責任者

グループホームまつば 職員

会議内容:

1.会議開会の挨拶・主旨説明

グループホームまつばと松ヶ谷四丁目本町会が関係を深め、お互いに何ができるかを考えていくための話し合いの場としていきたい。

2.構成員紹介

1 人ずつ自己紹介をいただいた。

3.グループホームまつばより

①事業所紹介・事業報告

グループホーム職員より、運営母体・共同生活援助・事業概要・事業計画・地域と連携して解決したい課題についてそれぞれ説明を行ない、構成員と共有した。

②サービス提供(利用者の生活・権利擁護の取り組み等)についての報告

グループホーム職員より利用者の生活の様子や支援内容、虐待防止委員会および成年後見制度利用推進について報告した。

4. 松ヶ谷四丁目本町会女性部部长より

女性部部长様より、松ヶ谷四丁目本町会の概要および年間行事について報告いただく。年間行事では、小野照崎神社・朝顔市・盆踊り・秋葉神社・清掃の活動がある。また、女性部では、廃品回収・朝顔市・交通整理・松が谷児童館での工作の活動について説明いただいた。

5. 意見交換

(1)〈女性部部长様より〉地域清掃を行っていることを初めて知った。いつ行っているのか。
→〈まつば〉特定の日にちは決めていないが、月一回グループホーム周辺を利用者とともに清掃活動を行っている。地域の一員として参加しており、利用者の皆さんも意欲的に参加している方もいる。→〈女性部部长様より〉地域でも参加者が高齢化につき減りつつあるが、清掃活動としてシニアクラブという活動を月末に行っている。地域とのつながりを知れてよかった。

(2)〈利用者より〉通所先の作業所では、箸入れやノートの紐通しなどを行っている。作業所には、仕事がいっぱいある。通所先へは、自身で電車に乗って通っている。勉強することが好きで、字をたくさん書いている。

(3)〈女性部部長様より〉通所先は、各自決まっているところに行くのか。それともダンスがしたいときは、生活介護に行くなど、目的に応じで行先を変えているのか。

→〈まつば〉通所先は、利用者の要望や体力など状況に応じて変えることもあるが、毎回要望に応じて通所先を選択して通うことはない。「年齢が上がり、仕事(作業)内容が困難になった」や「自身で通うことが難しくなった」などの様々な状況を配慮し、通所先を変更するケースもある。

(4)〈利用者家族より〉娘は、挨拶が好きで、通所途中にあるマンションの管理人さんへ毎回挨拶をしている。習慣になっているのか、管理人さんが、エントランスにいなくても挨拶をしていることがある。地域との交流になっているのかもしれない。

→〈まつば〉挨拶されるのは、どの人もうれしいものである。ボランティアで清掃を行っている人に挨拶をすることがあるが、挨拶が返ってくるのが嬉しく思う。グループホームの職員が知らないところで、(挨拶以外でも)地域交流が行われているのかもしれない。

(4)〈まつば〉今月のイベントでは、クリスマス会を開催予定である。飾りつけを利用者で行い、季節感を感じながらイベントを準備している。今年は、カラオケ大会を開催予定である。テレビにカラオケを映して、利用者の皆さんに好きな歌を歌っていただく予定。

(5)〈まつば〉食事は、一食ごとに分けて保管している。一週間に一回、昼食と夕食を変更できる日を設けている。料理の選択は、利用者の皆さんに決めてもらっており、好きな料理を選ぶことが楽しみになっている。

6. 見学

グループホームまつば施設内見学を実施。居室内も参加利用者の許可を得て、見学を実施。利用者本人に居室内を紹介していただいた。

以上